

対象関係論勉強会主催「精神分析基礎講座」2016年度募集要項 2015年11月

2001年に発足して系統講義を行ってまいりました対象関係論勉強会はおかげさまで16年目を迎えます。新年度からこの研修会を、他のセミナーの受講歴がない方にも受講いただけるように再編成し、「精神分析基礎講座」という名前で再出発することにいたしました。この講座は3年間で精神分析の理論と実践についての知識がおおよそ学べる講座で、2016年度は1年目です。

1年目は理論編、2年目前半は理論編・後半に技法編、3年目は臨床編（講師・修了生によるケース提示と検討）と発展編（カレントな精神分析的思索を学ぶ）という構成になります。2年目3年目からも受講可能ですが、1年目からお聴きになるのがいちばんスムーズなので、今回の受講をお勧めします。

運営委員は全員、日本精神分析協会に所属するIPA認定の精神分析家で、ほぼすべての時間の講師と司会を担当します。この講座は、日本精神分析協会の基礎セミナー、および日本精神分析学会の認定制度で定める研修グループの系統講義に認定されています。

[運営委員] 北山修、松木邦裕、藤山直樹、岡野憲一郎、妙木浩之

(吉村聡、藤内栄太、加茂聡子、大森智恵、池田暁史ほか、対象関係論勉強会を修了した分析家候補生が司会として参加することもあります。)

[期間と時間] 2016年4月～2017年2月に毎月1回日曜日に質疑応答を交えた講義形式の勉強会を午前(10:00～12:45)と午後(14:00～16:45)の2コマで1～2人の講師で行います。全10回
[講義予定]

回	月日	講師	講義タイトル
1	4月3日	北山 修/藤山直樹	精神分析とは何か / 精神分析をどう学ぶか
2	5月15日	北山 修/岡野憲一郎	フロイトの人生 / 1900年までの仕事
3	6月19日	藤山直樹/妙木浩之	フロイト古典理論 ①技法論 / ②性愛理論と発生発達論
4	7月10日	松木邦裕/妙木浩之	” ③生成論とナルシズム / フロイトの症例
5	9月18日	藤山直樹/北山 修	フロイト後期理論 / フロイト研究の流れ
6	10月16日	藤山直樹/北山修	第一世代の分析家たち
7	11月13日	岡野憲一郎	アンナ・フロイトと自我心理学の流れ
		妙木浩之	米国精神分析 ① ニューヨーク研究所から乳幼児心理学
8	12月18日	妙木浩之	” ② レーヴァルト、リッグスの流れ、サリヴァンの系譜
		岡野憲一郎	コフトと自己心理学
9	1月15日	松木邦裕/平井正三	クライン その人生と業績 / 子どもの心とクライン
10	2月19日	松木邦裕	成人の病理とクライン / クラインとウィニコット、ビオン
	<3月12日 予備日>		

なお2年目は理論編として、ウィニコット、ビオン、独立学派、現代のアメリカの精神分析、日本の精神分析を学び、技法篇としてはサンドラー「患者と分析者」(誠信書房)をテキストに講義します。

[会場] 原則として新宿住友ビル(三角ビル) [定員] 100名

[参加資格] 1. 医師、大学院修士課程修了のサイコロジストなど、守秘義務をもつ臨床家。
2. 2016(平成28)年4月現在で臨床に1年以上携わっていること。

[参加料] 年間9万円(10回分)を3月28日までに一括で支払っていただきます。

[お申込み] 別紙の申し込み用紙に自署の上、事務局までFAX又は郵送にてお申込みください。
記入済みの用紙をPDFファイルにして、下記メールアドレスへの送信も受付ます。

[締め切り] 2016(平成28)年2月20日(土) *3月5日頃までに受講の有無(可否)の返事をいたします。

[問合せ先] Eメール: info@taishoukankeiron.com FAX: 03-6427-4228
〒107-0062 東京都港区南青山5-4-44-203 対象関係論勉強会事務局(担当: 江口・梨木)
対象関係論勉強会ホームページ: <http://www.taishoukankeiron.com>

申し込み用紙

新規 継続受講 再受講

平成 2 年 月 日

<継続・再受講の方は、下記※印の箇所と変更になられている箇所をご記入ください>

※受講年度 2001 2002 2003 2004 2005 2006 2007 2008 2009 2010 2011
2012 2013 2014 2015

※氏名 (ふりがな)

※連絡先住所 〒 _____ 自宅 勤務先 (所属)

※連絡先 電話番号 _____ 携帯・PHS _____

FAX 番号 _____

メールアドレス _____

性別 男・女 西暦 _____ 年 月 日生

最終学歴

※職種 (精神科医、サイコロジストなど)

※資格 (医師、臨床心理士など)

※所属 (勤務先、大学院など)

これまでに参加された精神分析関係のセミナー

受講希望理由 (50字くらいで)
